

# 頑張れ、新成人！

北原 巖男

昨年来、人類を襲い続けているコロナ禍の猛威。

ふるさと伊那市の白鳥孝市長は、そんな中であつても伊那市発展の歩みは緩めないとの決意の下、市民の皆さんと一体になって、次代を担う人材の育成、雇用の創出、移住・定住促進の取り組みに邁進されるとともに、市民の皆さんの暮らしと地域経済を守るため全力を尽くされています。ぜひ頑張ってください、ふるさと伊那市を離れている者の一人として、心から力いっぱいエールをお送り致します。

現在、伊那市の総人口は、およそ67,000人。なんと24年後の令和27年には2万人近く減少し約48,000人になるという衝撃的な推計があります(平成30年国立社会保障・人口問題研究所)。

更に、昨年は、コロナ禍による不安等から妊娠を控えた人も多いと見られ、本年の出生・出生予定数は、全国的にこれまでにない落ち込みを見せています。伊那市の少子化も一層前倒しになり、人口減に拍車がかかることは避けられないのではないのでしょうか。そんな伊那市の次代を託すのが「Z世代」と呼ばれる2000年代生まれの若者達です。その中で、今年新成人となる若者は約800名。一人ひとりが、かけがえのない存在です。

伊那市では、「人生に一度きりの特別な式典」である成人式を是非実施したいとの思いから、開催予定だった1月を8月のお盆の時期へと延期しています。それまでにはコロナ禍が収束し、新成人達の笑顔溢れる成人式が実現されることを願って止みません。

既にご覧になりました方もいるかと思いますが、「市報INAJ(2021.No.178)」には、伊那市から新成人へ心温かな応援メッセージが寄せられて

います。

「これから先、進むべき道に迷い、背負った責任の重さに悩むことがあるかもしれません。そんな時は、焦ることもなく立ち止まり、自分を支えてくれた家族や友だち、地元の方々の皆さんを頼ってください。きつと心に寄り添い、背中を押してくれるはずですよ。

未来へ羽ばたく皆さんが、さらなる成長を見せ、それぞれの目標や夢を実現していただけることを願っています。」

頑張れ、新成人！

YES, YOU CAN DO IT!

KEEP ON SMILING!

(一般社団法人 日本東ティモール協会会長)

